

## 海事DATA/AIアイデアソン

# 業界の若手など刺激

### 企業の枠超えフォローアップ会議

社会課題の解決や新規ビジネス創出に向けて企業の垣根を超えてアイデアなどを議論する「海事DATA/AIアイデアソン」のフォローアップミーティングが11月30

2点を心掛けるようにしている」などの意見が出された。

9月の活動では、東京と大阪の2会場で参加者29人が5チームに分かれてアイデアを出し合い、「日常の報連相（報告・連絡・相談）」を効率化する「瞬間ダイジェスト」など5つのアイデア・サービスをまとめている。今回のミーティングではこのほか、日本郵船の石澤直孝NYKデジタルアカデミー学長が「国際物流 実務者からみた課

題と展望」をテーマに講義。具体的事例を基に「ビジネスでは、自分で環境をコントロールできない。降り掛かる環境をマネージし、時には横道にそれることもあるが、新結合（イノベーション）をつないで事業目標に近づけていくしかない」と語った。

さらに、郵船の関係者が、非営利組織をベースとして、社会的課題解決などを旨とする事例を紹介した。

「海事DATA/AIアイデアソン」は、海事産業のデータ共有基盤「IOS（船のインタールネット）オープンプラットフォーム（IOS-OP）」のコンソーシアム事務局を務めるシップデータセンター（ShipDC）が開催。今回のフォローアップミーティングには会場で27人、リモートで12人が参加した。



都内で開かれたフォローアップミーティング